



日本人の10人に1人が骨粗しょう症

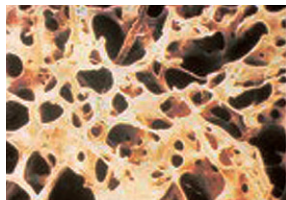
日本では、約1,300万人が骨粗しょう症にかかっていると推定されています。大腿骨・脊椎骨折は年間12万件を超え、約10%の方は1年以内に亡くなっています。骨折の影響で寝たきりになったり、慢性腰痛に悩まされたり、背中が曲がったりして生活に支障をきたすなどの問題も発生しています。 ※『骨粗鬆症の予防と治療のガイドライン』2011年版を参考



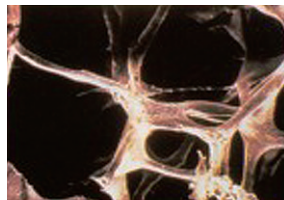
腰椎で、骨の健康がわかります

腰椎は、閉経後の女性にとって最も変化が現れやすい箇所です。骨代謝が盛んな海綿骨の情報を多く含んでいるので、骨量の変化をはっきりととらえることができます。また脊椎や大腿骨頸部は、骨粗しょう症によって骨折が起こりやすい箇所です。

健康な骨



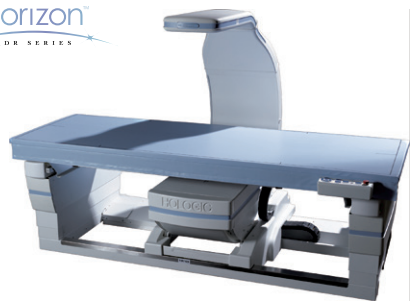
骨粗しょう症の骨



※出典：浜松医科大学名誉教授 井上 哲郎 先生

当協会で導入の、骨密度測定装置

Horizon
QDR SERIES



米国ホロジック社製 Horizon

世界で高いシェアを誇る、信頼性の高い装置です。骨密度測定分野では世界標準となっており、高精度な骨密度測定が行えます。

人間ドック オプション検査

骨粗しょう症検診

3,960円

X線吸収法
(DXA法)

左大腿骨頸部で
測定します。

骨粗しょう症の早期発見に有用な検査です。

特に女性は、骨粗しょう症予防のため、40歳代からの骨量測定をお勧めします。

人間ドック各種健診コースに
オプション検査として追加できます。

お問い合わせ・お申し込みはこちらまで



公益財団法人

兵庫県予防医学協会 健診センター

〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町1丁目8-1

☎ 078-855-2730

受付時間：月～金曜日 8:30～12:00 / 13:00～17:00

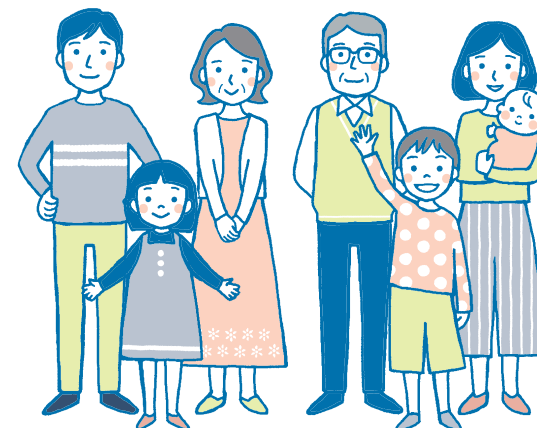


骨粗しょう症検診 のご案内

X線吸収法(DXA法)で「骨粗しょう症」の早期発見を

骨、

元気ですか？



公益財団法人 兵庫県予防医学協会 健診センター

早めの予防で、 骨を元気に！

20代をピークに、骨の量は次第に減少していきます。
骨に「す」が入ってもろくなり、腰痛や骨折の原因
となります。これが、「骨粗しょう症」です。

女性に多い「骨粗しょう症」。
「私は大丈夫」と思っている、安心はできません。
自覚症状がないので、骨折して初めて知らされる方
も少なくありません。

当協会では、信頼性が高く、世界中で活躍する米
国ホロジック社の骨密度測定装置 Horizonを導入。
「骨粗しょう症」の検査が簡単・安心・高精度に行
えます。

腰椎や大腿骨の骨折で、寝たきりにならないため
にも、定期的な検査をおすすめします。



骨密度測定検査を、気軽に受診していただけます。

🔍 身体にやさしい検査

一般の胸部レントゲンの約 1/5 程度の被ばく量
で検査が行えます。女性の方でも安心して測定
できます。

●被ばく量の比較

一般の
胸部レントゲン

骨密度測定検査

約
1/5

🔍 リラックスして検査

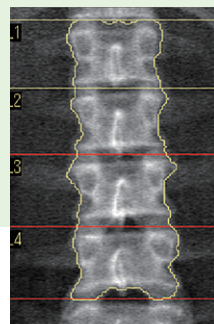
寝台の上に仰向けに横たわり、足乗せ台に足
を乗せ、リラックスして検査を受けていただけま
す。ムリな姿勢は必要なく、痛みもありません。



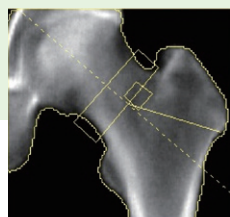
🔍 スピーディに測定

検査室に入室して、約 5 分で検査が終了します。
最新の装置により、腰椎、大腿骨を各々最速
10 秒で測定できます。

腰椎



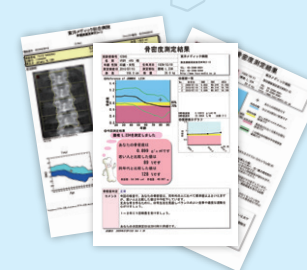
大腿骨



※測定する部位、機種によって多少時間は異なります。

🔍 定期的な検査がおすすめです

検査結果はコンピュータに保存されます。定期
的に検査を受けていただくことで、より精度の高
い診断が行えます。



継続して検査すること
で、骨密度の変化を把
握することができます。